

EARTH COMPANY ANNUAL REPORT 2023

Earth Company 2023年度活動報告



*One Day or
Day One -
you decide.*

MESSAGE FROM OUR CEO

万物は、繋がっている。

Earth Company CEO

濱川 明日香

2023年私たちは、何よりも「世界と私たちの繋がり」について話してきました。数々の企業で約1200人の社会人に、約2700人の学生たちに。

たった100年前は、世界はこんなにも繋がっていませんでした。しかし、技術の進化やグローバル化やインターネットによって、世界は隅々まで、「資本主義」という「網」で繋がりました。それによって経済的繁栄も広がりましたが、同時に、それらによる犠牲や格差や自然破壊も進みました。

私たち先進国の暮らしが原因となる気候変動が、マーシャル諸島の人々の暮らしを沈めていることも、私たちの携帯に使われている銅を採掘するパプアニューギニアで大勢の女性たちがレイプ被害を受けていることも、日本に輸出される海老は東南アジアで拉致された児童奴隷が獲っている可能性があることも、全ては、この「網」で繋がっている事象です。

このような悲しい悪循環を作るのも私たちの行動。ですが一方で、この「網」に好循環を生み出すことができるのも私たちの行動です。完全自給自足生活をしていない限り、この「網」に関係ない人はいないので、政府も企業も個人も、全てのセクターが協働し、「コレクティブインパクト」として変革を起こさなければなりません。

私たちのImpact Heroたちは、まさにその変革の強力なカタリスト。ただ彼らがいくら頑張っても、「網」の中にいる人たちが課題を作り続けていては、間に合いません。だからこそ、これから未来を切り拓く学生たち、そしてこの「網」に一番影響力を持つ「企業」に、私たちはこれらの話を伝えています。そしてマナで、「好循環を生み出すあり方」を体験して頂いているのです。

国連も、2030年までの10年を地球の生態系回復において最も重要な10年として「国連生態系回復の10年」と指定し、甚大なりソースを投下して取り組んでいる通り、まさに「今」が、未来を変える鍵です。

One day, or Day One. You decide.

「いつか」変わるのか、今日を变化の「1日目」とするのは、あなた次第。

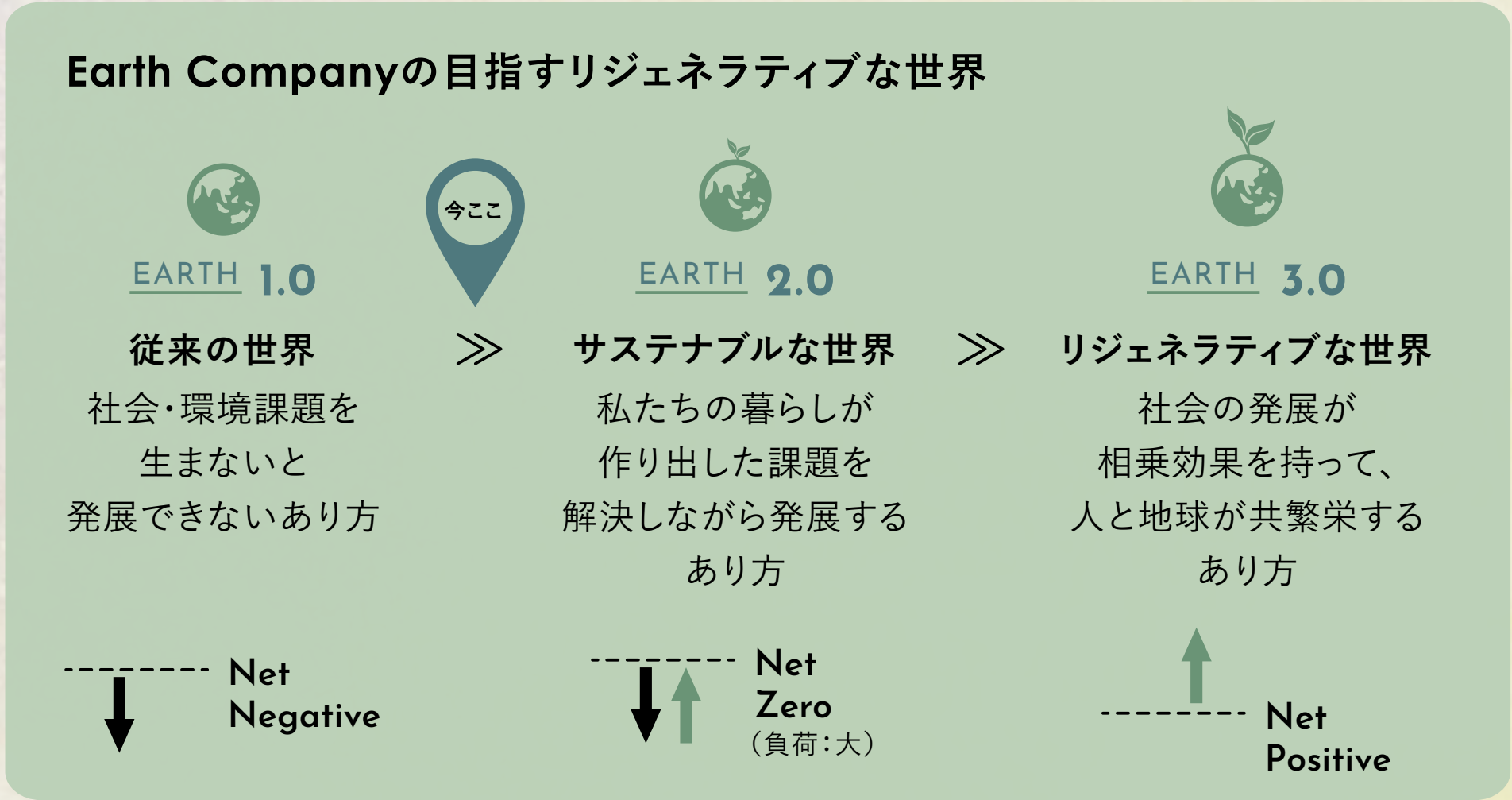
Earth Companyは世界中で、今日を「Day One」とする人たちを、日々増やしています。

そして2024年は、なんとEarth Company 10周年を迎えます！より一層駆け抜けますので、皆さま、引き続き応援よろしく願いいたします！

OUR MISSION

Earth Companyは
次世代につなぐ未来のために、
人と地球の共繁栄を促すあり方を
追求することをミッションとし、
3つの事業を展開しています。

私たちの暮らしは、密接に世界とつながっています。
だからこそ、知らないうちに世界の課題に加担してしまっていることもあれば
私たちの行動でその課題を解決することもできます。
Earth Companyは、地球上の人々と自然環境のウェルビーイングが
共に向上されていく「プラネタリーウェルビーイング」の実現を目指しています。



OUR 2023

2023年、 4年ぶりにインパクトヒーロー来日！ バリ島研修も完全復活！

ようやく日常が戻って来た2023年。

4年ぶりに、インパクトヒーローの来日ツアーを再開しました！
Impact Hero 2021 アリーフ・ラビックの来日イベントは満員御礼。アリーフの人柄や、竹を使って地球規模の森林伐採に歯止めをかける壮大な再生産業を手がける彼の事業に、たくさんの方々・企業がインスパイアされ、今後に繋がるご縁を繋ぐことができました。

また、私たちのエシカルホテル・マナでは宿泊のお客様が2022年と比べて倍増し、インパクトアカデミーのバリ島渡航型研修も完全復活！バリ島へ来て、高校生活で初めてマスクを取り、クラスメートの素顔を初めて見た学生たちも。バリ島の温かさに触れて少しずつ溶けていく彼らの心、少しずつ取り戻される心からの笑顔は、心にぐっと来るものがありました。



2023 HIGHLIGHTS

2023年度のハイライト



IMPACT HEROES

インパクトヒーロー
支援事業

6か月間のリーダーシップ
プログラムを受けた
8名の中から、
Impact Hero 2023として
オユナを選出！



アリーのフの
来日ツアー開催



2024年度のヒーローを公募
過去最大の応募者数から8名を選出

インパクトヒーローへの送金額

 **237**万円

2023年の受益者総数

 **1,547,061**人



IMPACT ACADEMY

インパクトアカデミー
研修事業

研修開催本数

 **68**本

研修・講演参加者数

 **3,929**人



企業研修・講演を21本実施！



サントリーグループ
若手研修向け海外研修の
2024年度研修提供が決定



雲孫財団の助成金事業として特別
無料授業を15校の中学校・高校に提供

MANA EARTHLY PARADISE

エシカルホテル事業



IMPACT HEROES

IMPACT HERO支援事業

リジェネラティブな未来を創る、類稀な変革力を持つアジア太平洋のチェンジメーカーを支援。毎年厳正な審査を経て選ばれた最大10名のヒーローたちを対象に、彼らのリーダーシップ育成と活動の成長をサポートする1年間の支援プログラムを提供。そしてそのなかから選出する1名のインパクトヒーローには、活動のインパクトを最大化できるよう、課題やニーズに沿った伴走支援を、合計3年間にわたり提供します。

インパクトヒーローへの送金額

 **237**万円

2023年の受益者総数

 **1,547,061**人



HEROES COLLECTIVE

2030年までに、100人のチェンジメーカーたちをリジェネラティブ・リーダーとして育成・支援し、その相乗効果を持ってアジア太平洋の各地域での変革を推進します。

2024年度のヒーローたち



2023年度のヒーローたち



2022年度のヒーローたち



2021年度のヒーローたち



IMPACT HERO 2019
ウェイウェイ・ヌー
(ミャンマー、平和構築)



IMPACT HERO 2022
サミール・ラカーニ
(カンボジア・ネパール他、保健衛生)



IMPACT HERO 2021
アリーフ・ラビック
(インドネシア、森林再生)



IMPACT HERO 2016
ロビン・リム
(インドネシア・フィリピン、保健医療)



IMPACT HERO 2023
オウンゲレル・ツェデブダンバ
(モンゴル、衛生改善)



IMPACT HERO 2017
キャシー・
ジェットニル＝キジナー
(マーシャル諸島、気候変動)



IMPACT HERO 2015
ベラ・ガルヨス
(東ティモール、環境教育)



OUR IMPACT MAP 2014-2023

団体設立から9年。皆さまからのご支援を賜り、
リジェネラティブな未来の創出に向けた22のプロジェクトを支援できました。

アジア太平洋 **8** カ国で
22 の支援プロジェクトを実施
7 施設を建設
7 カ所で災害支援
累計受益者数 **430** 万人

1



東ティモールグリーン
スクール&ヴィラ建設支援

支援金額 **1,050**万円

3



バリ島クリニック
建設支援

支援金額 **1,500**万円

9



ロンボク島災害支援
クリニック建設支援

支援金額 **750**万円

10



パプアクリニック
建設支援

支援金額 **950**万円

11



マーシャル諸島気候変動
ユースセンターの建設支援

支援金額 **1,000**万円

16



パラワン島災害支援
クリニック建設支援

支援金額 **150**万円

17



ミャンマークーデター直後の
民主派アドボカシー支援

支援金額 **700**万円

20



ロヒンギャ難民に
リサイクル石けんを届ける

支援金額 **806**万円



これまでの支援プロジェクト一覧

1. 東ティモール・グリーンスクール建設&運営支援
2. ネパール地震緊急支援
3. バリ島ブミセハット国際助産院建設&運営支援
4. 東ティモール・エコツーリズム施設建設
5. バリ島ブミセハット国際助産院ユースセンター兼避難所建設
6. ロヒンギャ難民キャンプ難民学校運営費支援
7. フィリピン巨大台風緊急支援
8. バリ島アグン山噴火緊急支援
9. ロンボク島地震緊急支援
10. ブミセハット国際助産院パプアクリニック建設
11. マーシャル諸島気候変動ユースセンター建設&運営費支援
12. ミャンマー平和構築リーダーシップセンター運営費支援
13. 東ティモール大洪水緊急支援
14. バリ島にてコロナによる困窮家庭への緊急食糧支援
15. マーシャル諸島ユースセンター存続のための緊急運営支援
16. ブミセハット国際助産院パラワン島クリニック建設
17. ミャンマークーデター発生を受けアドボカシー活動支援
18. フィリピン巨大台風緊急支援
19. ベラ・ガルヨス自叙伝執筆&出版支援
20. 900万個のリサイクル石けんをロヒンギャ難民に届けるために必要な石けん製造機3機分の資金提供
21. 900万個のリサイクル石けんを作るためにカンボジアに増員する女性スタッフ雇用
22. ウェイウェイ緊急支援

ARIEF RABIK

IMPACT HERO 2021

支援
終了

竹を活用した荒廃地の再生と農村経済の活性化を目指す「バンブービレッジ構想」。その世界規模での普及を目指し、支援最終年には来日ツアーを実施、事業パートナーとなり得る日系企業や専門家、日本のメディアとの関係構築を支援。

アリーフ・ラビック：竹の専門家で著名な環境活動家であり、Environmental Bamboo Foundation (EBF) を設立した母親の元、10代の頃から1000種類の竹の名前を覚えていたというアリーフ。自身も竹の専門家となり、志半ばで亡くなった母の遺志を継いでEBF代表に就任。インドネシアで「1000のバンブービレッジ」プロジェクトを立ち上げ、竹を中心とするアグロフォレストリーの栽培・管理、世界の木材需要を置き換える竹材の生産と普及を通して、荒廃地の再生と「再生経済」の構築を目指す。現在EBFシニア・アドバイザー。バンブービレッジ・トラスト設立者。「国連生態系回復の10年」諮問委員。



3年間のEARTH COMPANYの支援内容

2023年12月末をもって支援期間を終了したアリーフへの支援活動をご紹介します。

支援ニーズ

インドネシア及び世界各国で「バンブービレッジ」の構築・拡大を後押しするための大規模な資金調達、日系企業や専門家との関係構築、竹や農作物の販路開拓への支援。特に2023年は、アリーフが新たに「バンブービレッジ・トラスト」という基金を設立し、国連生態系回復の10年 (UN Decade on Ecosystem Restoration) と連携して世界12カ国でのバンブービレッジ構築に向けた資金調達を行うため、日本ツアーを通した支援者開拓を支援した。



事業連携に向けて日系企業及び竹や荒廃地の専門家と、1週間の滞在中に16件の面談をこなしました！

支援内容

資金調達支援

大型の国際助成金への申請書をはじめ、資金調達のための提出資料合計3本の作成を支援しました。



企業連携支援

インドネシアに市場を持つ大手日系企業3社に対して協働事業提案を行い、提案資料の作成、関係者との連絡調整を通してパートナーシップ開拓を支援しました。

メディアを通した情報発信

NHK Worldやサステナブルな取り組みを扱うメディアからの取材を仲介し、バンブービレッジ構想に関する情報発信を支援しました。



出典: NHK World



ツアー中に開催した講演会・イベントには、合計177人の方にご参加いただきました！

企業連携の難しさを実感!!!

今回のアリーフ支援でEarth Companyチームが最も時間と労力を割いたのは、日系企業に対する事業連携の働きかけでした。非常に複雑で多角的なアリーフの事業において、各企業の重点課題を踏まえて「企業の課題解決xアリーフの事業推進」を実現する仕組みを考案し、事業提案書を作成することは一苦勞でした。インドネシアに市場を持つ関連企業の担当部署にネットワークを駆使してアポ取りをし、他部署を紹介されれば何度でも働きかけ、結果良いところまでいくケースもあったのですが、各企業の状況もあり、残念ながら3年間の支援期間内でのパートナー構築には至りませんでした。それでもこの活動が大手企業数社とのご縁を繋ぎ、今後に何らかの形で実る「種蒔き」であったとも実感しています！



SAMIR LAKHANI

IMPACT HERO 2022

**厳しい衛生状態にある人たちに、
いち早く石けんを届けるために。**

カンボジアをはじめとするリサイクル石けん
工場の生産力を更にあげるため、製造機械
購入と増員に必要な資金調達を支援。

サミール・ラカーニ：訪れたカンボジアの農村で、
洗濯洗剤で新生児を洗う母親の姿を見て、衝撃
を受けたサミール。石けんすら買えない貧困下で
衛生状態が悪く、下痢や感染症など予防可能な
病気で命を落とす子どもを一人でも減らすため
に、2014年にEco-SoapBankを設立。世界中の
工場ですら出される未使用の廃棄石
けんに着目し、工場から回収、貧困層の女性を雇
用してリサイクルし、NGOや国際機関を通して衛
生状態の悪い人たちに届ける事業を展開。これ
までに5か国で160人以上の女性を雇用して、
4,000トン以上の廃棄石けんをリサイクルし、アジ
ア、アフリカ地域の900万人以上の人びとに届け
てきた。



支援のインパクトとその後の進捗

2022年クラウドファンディング 概要

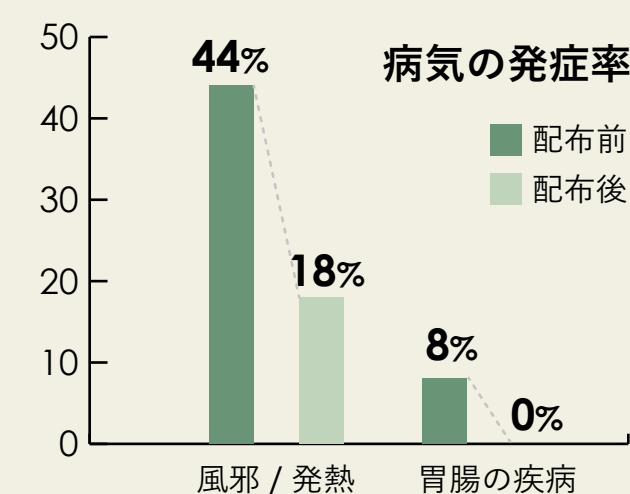
2022年4月に実施したクラウドファンディングでは、432万円の寄付が204人から寄せられ、個人寄付も合わせて総額806万円を届けることができました。この支援により、カンボジア工場では**3台の機械を導入し、女性従業員を新たに15人雇用**。これまでの倍以上の生産量で、**1日あたり約6000個、1年間あたり200万個の石けんを製造**することが可能になりました。



支援インパクト

ロヒンギャ難民キャンプの衛生状態の改善

UNHCRの要請を受け、2022年7月から2023年12月までの18ヶ月間に、バングラデシュのロヒンギャ難民キャンプの**合計586,000人に、200万個の石けん**を届けることができました。石けんの配布時には、現地NGOによる衛生教育ワークショップが、主に女性や子どもを対象に提供されました。また調査の結果、**石けんが配布された地域で感染症の発症率が激減！**



エンパワメントされる女性従業員

今回の支援により新しくカンボジア工場で雇用されたスレイヒークさん。シングルマザーとして仕事をかけもちしながら貧しい家庭を支えていた彼女は、安定した収入を得て気持ちも落ち着き将来の計画も考えられるように。



2023年の支援内容

世界中の衛生状態の悪い人たちに石けんを届ける。このミッションを達成するために、サミールはEco-Soap Bankの工場の生産力のさらなる向上を目指しています。具体的には、2つの工場に1台ずつ大型機械を導入(1台6万ドル相当)し、年間1000万個の石けんを製造・配布、またそこからの収入で全工場の運営費がカバーされることで、事業のさらなる成長が可能になります。

このサミールの新たな挑戦を支援するため、Earth Companyが2023年に行ったのは以下の2つ。

① 資金調達に向けて、2件のプロジェクトを仲介

■ オーストラリアの財団が、国内の難民支援のためにESBから37,500USD分の石けんを購入。その売り上げで新しい機械購入費の一部をカバー。

■ オーストラリアの財団のマーケティング・チームが、プロボノで企業向けファンドレイジング支援を実施中。



② Earth Companyチームによるマーケティング支援

継続寄付者獲得のためのコミュニケーション強化施策として、Eco-Soap Bankのニュースレターやインスタグラムのテンプレートデザインを提供しました。

OYUNGEREL TSEDEV DAMBA

IMPACT HERO 2023

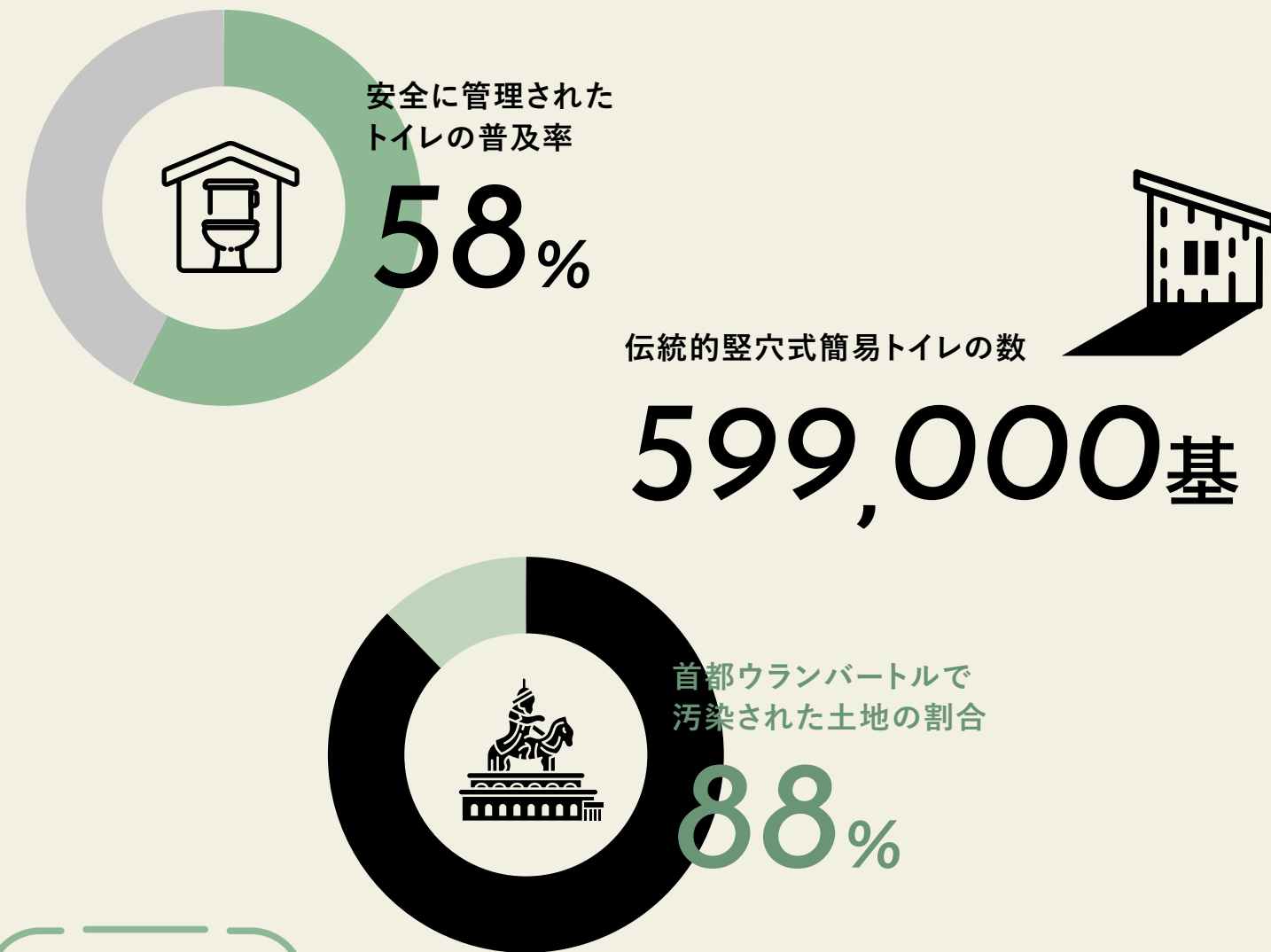
モンゴルの全ての人に 安心・安全でエコなトイレを！

住民自らが自分たちの健康と環境を守る担
い手になれるよう、トイレに関するタブーを
打破し、新しいトイレ産業の発展をも牽引す
るオユンゲレルの活動を支援します！

オユンゲレル・ツェデブダンバ：旧ソ連共産主義
の影響を色濃く受けたモンゴルの小さな田舎町
で育ったオユンゲレル（オユナ）。ソ連崩壊を機
に、民主主義活動家に転身。2012～16年には国
會議員を務め、文化庁・観光大臣も歴任、モンゴル
社会の民主化と持続的発展に取り組んできた。
2017年に、トイレに対する意識と行動を変えるた
めのキャンペーン「Let's Change Our Toilets
（トイレを変えよう）」を開始。安心・安全かつエコ
なトイレの普及を通じた衛生・環境改善をミッ
ションに、水道施設のない農村部や都市部のゲ
ル（移動式住居）居住区での研修や啓蒙活動、ビ
ジネスセクターとの連携促進に取り組む。



オユナの活動・取組課題の紹介



課題背景

広大な国土と寒冷な気候の下、上下水道施設の整備が難しいモンゴルの水衛生環境は世界的にみても非常に厳しく、危険で不衛生なトイレの使用により、特に地方や都市のゲル（移動式住居）居住区では、感染症などの健康被害や、土壌汚染による環境問題などを引き起こしています。

これまで国際機関などによるトイレ改善プロジェクトも実施されましたが、トイレについて言及することを強くタブー視する文化的背景を含め、現地のニーズに適した技術とアプローチなくしては、トイレ改善を進めることが難しい状況です。

活動紹介

タブーを打破し、自分たちの手でトイレを変えよう！

NGO団体Local Solutionsは、住民がトイレの問題を考え、自分たちに合った解決策を選べるようになるためのワークショップを、モンゴル全土をまわって開催。また地域の環境に適したドライトイレ設備を開発し、低所得者層でも購入可能な価格で販売し、設備導入の支援ができるよう、地元業者の育成や連携も行い、モンゴル初のソーシャルなトイレ産業の発展を牽引しています。

支援ニーズ

モンゴルの全ての人々が、安全で信頼できるトイレにアクセスできるよう、現存する約60万基の竪穴式トイレを、全て衛生的でエコなトイレに変えることを目指します。

そのために今後3年間の注力点と必要な支援は以下の2つ。

① モンゴル全土での教育活動を継続して拡大：

運営費**560万円/年**

② ドライトイレ普及のために、モンゴル初となる教育研修施設を開設：建設費**800万円**



2023 CLASS OF HEROES

2023年度のヒーローたちへの支援

一人のインパクトヒーローだけでなく、もっと多くのチェンジメーカーたちに支援を届け、アジア太平洋のリジェネラティブな未来づくりを加速させたい。

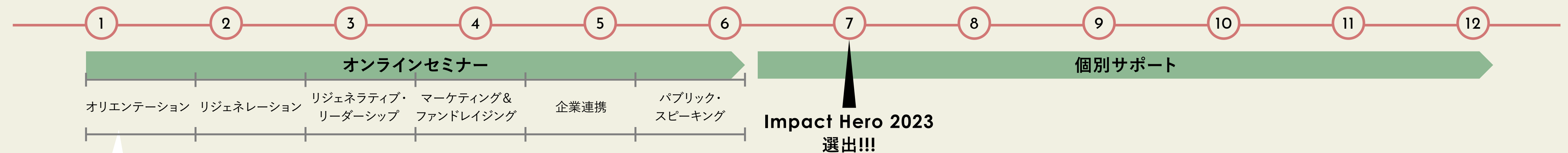
こうした思いから2021年に開始した「リジェネラティブリーダー育成プログラム」。

年々その内容をアップグレードし、これまで14か国25人のチェンジメーカーが参加しました。

2023年度は5カ国で活動する8人のヒーローを対象に、1年間の支援プログラムを提供。8人全員のバリ島集結も実現しました！

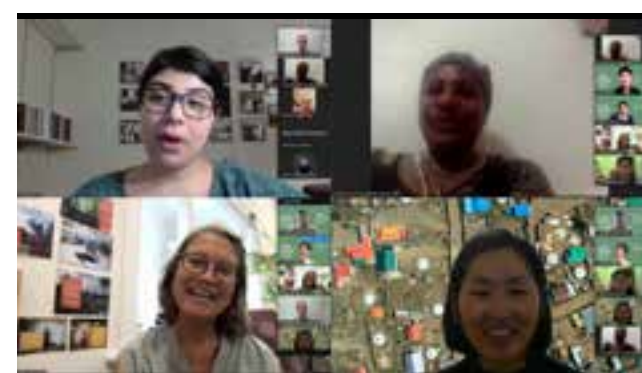
また今年度から、インパクトヒーローを本プログラムの参加者の中から選出するというプロセスに変更し、

7月にImpact Hero 2023を発表しました。



オンラインセミナー

月一回の頻度で、リジェネレーションに関する概念と、資金調達やマーケティングなど、事業や団体の成長に必要な実用的スキルを扱うオンラインセミナーを、合計6回提供しました。



4月 ヒーローズ・バリキャンプ

5日間にわたるバリ島での滞在で、リジェネレーションの最先端事例の視察、Earth Companyチーム及び外部専門家によるコーチング、40名以上が参加した「ヒーローズ・ナイト」イベントを行い、ヒーロー同士の連携や支援ネットワークの拡大が実現しました。

活動報告



6月 リジェネラティブ・フューチャーズ・サミット

半年間のプログラムからの学びをもとに、ヒーローたちが描くリジェネラティブな未来像を発表する招待制オンラインイベントを開催。20名のインパクト投資家、慈善家、アクセラレーターの方たちをお招きし、今後のパートナーシップ拡大の機会を作り出しました。

6-12月 個別サポート

各ヒーローの支援ニーズに基づき、メンタリングや機会創出のための支援を提供しました。事業開発やインパクト投資、マーケティング、ガバナンス、リーダーシップなどの分野で専門性を持つメンターとつなぎ、半年間で2~3回のメンタリングセッションを実施。また潜在支援者をつなげるため、各ヒーローのファンドレイジング用資料を作成し、拡散しました。



ヒーローの声

パシュタナ・ドゥラーニ
LEARN(アフガニスタン)



リーダーとして孤独を感じていましたが、他のヒーローも同じでした。正直に弱みも打ち明けることで、志を共にする仲間との連帯が生まれ、何でも話せる友ができました。

ヴィンゼハル・ネン
サステナブル・オーシャン・アライアンス(バプアニューギニア)



バリでの学びから得た教訓は「自然と共生しつつ経済的成長」が実現できるということです。気候変動の脆弱国である自国の発展には、まさにこの考え方が必要だと気づきました。

2024 CLASS OF HEROES

2024年度のヒーローたち

2024年の応募者は25か国96名と過去最多!その中から卓越した8名のヒーローたちを選出しました。2024年は1年間のリジェネラティブリーダー育成プログラムを通して、各ヒーローのニーズに沿った支援も提供します。またこの中から1名をImpact Hero 2024として選出し、合計3年間の伴走支援を行います。



IMPACT HEROES' ACTIVITIES IN 2023

支援期間が終了したインパクトヒーローたちの活動

IMPACT HERO 2015 東ティモール

ベラ・ガルヨス

大統領の補佐官として、国連総会に東ティモール代表として参加するなどハイレベルな政治活動も行いつつ、首都ディリで運営するLGBTIの当事者が集まるシェルターを通じて、732人の若者へ支援を提供。大統領と国民の橋渡し役を担い、国民のための国づくりに貢献しています。2024年には自叙伝が発売予定。
(*ルブロラ・グリーンスクールは運営休止中)



IMPACT HERO 2017 マーシャル諸島

キャシー・ジェットニル・キジナー

ドバイで行われたCOP28にマーシャル諸島の気候変動大使として参加し、国の存続のための5兆円プランを発表。他の気候変動脆弱国と共に、世界規模の脱炭素に向けた対話を牽引しました。Jo-Jikumユースセンターで学んだユースたちも参加し、太平洋諸国で暮らす次世代のリアルな声を国際会議の場で世界中に届けました。

IMPACT HERO 2016 インドネシア・フィリピン

ロビン・リム

24時間365日運営する無償の助産院をインドネシアとフィリピンの6カ所で運営し、831人の赤ちゃんを取り上げ、14万人を超える人々に医療関連支援を提供。世界助産師会議がバリ島で行われ、WHOを含む世界中の助産師200人以上がブミセハットを訪問するなど、自然分娩の取り組みへの注目が世界から集まっています。ロビンは長年痛めていた膝の手術をようやく受け、術後の痛みはかなり苦しみましたが、今は無事回復しています！



IMPACT HERO 2019 ミャンマー

ウェイウェイ・ヌー

アメリカを拠点に行ってきたアドボカシー活動が実を結び、米国政府によるロヒンギャ支援を約250億円増額することに貢献。軍政権下のミャンマーと国連による大幅な予算削減の影響を受けるロヒンギャ難民キャンプでは、依然として厳しい状況が続いてますが、包括的な民主主義の実現とロヒンギャ難民への支援の獲得のために、国際会議や各国政府との交渉に尽力しています。

IMPACT ACADEMY

インパクトアカデミー研修事業

今後数年の人類のアクションが
今後数千年の地球の未来に
影響を与えていると言われています。
私たちは「地球を救える最後の世代」。
稀有な時代に生きているからこそ
未来のために行動を起こす人が
一人でも多く増えるよう
インパクトアカデミーでは
未来人財育成研修を提供しています。

2023年の研修本数

 **68**本

2023年の受講者数

 **3,929**人



IMPACT ACADEMY

インパクトアカデミーは、世界で起きている社会課題や環境問題など日本で過ごす日常とのつながりを感じにくい事柄を、インパクトヒーローたちの生き様を通じて心と頭で感じ、自分の日常生活とのつながりを理解しながら、「未来のために自分は何ができるか」を考えていく未来人財育成研修です。

人と自然が共繁栄する、リジェネラティブな未来をつくるためには、あらゆる年代で行動を起こす必要があるという思いから、Earth Companyでは中高生から社会人、企業の経営層まで幅広く研修を提供。受講した多くの人が未来への行動を始めています。

2023年導入校（50音順）

愛知県立刈谷北高校、飯塚市立穂波西中学校、飯塚市立穂波東中学校、香川県立高松商業高校、京都市立西京高校、京都聖母学院中学校、京都府立桃山高校、敬愛高校、中央大学附属高校、東京都立大泉高等学校附属中学校、福岡県立早良高校、福岡県立太宰府高校、福岡県立東鷹高校、福岡県立筑紫高校、福岡雙葉高校、立命館高校、立命館宇治高校、立命館守山高校、横浜商業高校、大阪大学、関西学院大学、東洋大学

2023年導入企業（50音順）

株式会社NTT Com DD、株式会社NTTデータ、キンドリルジャパン株式会社、サントリーホールディングス株式会社、株式会社資生堂、辰野株式会社、パナソニック創生大学校、富士急行株式会社

For Schools

教育機関対象



🖥️ 探究学習型研修

インパクトヒーローの半生を教材として用い、日本では感じられない世界とのつながりや、SDGsのリアルを届けます。探究学習や長期休暇中の特別研修として活用できます。



✈️ 渡航型研修

バリ島ウブドのエシカルホテル「Mana Earthly Paradise」に宿泊し、ごみ問題、貧困問題、ジェンダー問題などテーマを決めて現地の体験学習を通じて学びます。



🧠 実践型研修

学校のCO2排出量を可視化し、サステナブルな学校にするために生徒自身が「やりたい」ということを実践。生徒の自主性も大きく成長するプロジェクト学習です。

For Companies

企業対象



🖥️ インパクト人財研修

経済発展のために社会課題や環境問題を生んでしまう従来のあり方から、人と自然が共繁栄するために何ができるのか、これからの企業のあり方を考え、そのために行動できる未来人財を育成します。(対面開催は応相談)



✈️ 渡航型研修

バリ島ウブドのエシカルホテル「Mana Earthly Paradise」に宿泊し、社会課題の現場と解決策の最前線を体験しながら、企業としてできることを考えます。

For Professionals

社会人対象



🏠 Regenerative Futures Camp

社会人対象では、「Regenerative Futures Camp」を年2回開催。オンラインと対面で学ぶ全8回のカリキュラムで、最先端のフレームを学び、世界をよくする未来型の企業をつくるために個人としてできるアクションを考えます。

IMPACT ACADEMY

For Schools

教育機関対象研修事例



被災地緊急支援
探究学習型研修 | 横浜商業高校

生徒が毎回楽しみに授業を待つように

Earth Companyのミッションや活動に共感いただいたことが決め手となり、国際学科の授業として、バリ島で無償医療を提供する助産院を運営するインパクトヒーロー2016 ロビン・リムの生き様から学ぶ4コマのオンライン授業を10月に実施。「生徒も毎回授業を楽しみにしていた」と好評をいただき、授業後には生徒のバリ島や社会課題に対する関心が大きく高まりました。



参加者の感想

- 普段ならここまで深く考えられないようなところまでクラスのみんなで考えることができた。
- 普段の授業は、データや資料などに重きを置いていたので、「自分の感じたことを大切にしてください」というお話がとても心に残った。
- 毎授業、強く印象に残る新しい発見があり、時間が飛ぶようだった。授業で学んだことを今日家族に話してみようと思う。

2023年は7校がインドネシア・バリで渡航型研修を実施。さらに、一般財団法人雲孫財団（福岡県）の助成事業として、全国の中学校・高校で約1680名の生徒に無料のオンライン授業を届けることができました。
渡航型研修後に、高校在学中からNPOを立ち上げる生徒もいるなど、参加者の変容に心を動かされた1年でした！

3年間で初めて
マスクを外したクラスメイトの
顔を見たという子も！



渡航型研修 | 中央大学附属高校

バリで深まる思考、社会課題への学び

10月22～24日の3日間、「世界遺産」の選択授業を履修している生徒84名に、研修を提供しました！生徒たちは、「トリヒタカラナ」（「人、自然、神々のハーモニー」）のことで、バリ島で大切にされている価値観を尊重して受け継がれてきた世界遺産の棚田を訪問。さらに棚田を取り巻く環境問題を、農業、ごみ、命という3つのテーマにわかれて学びました。



引率した先生の感想

研修ではなかなか意見が出ないこともあったが、最後のリフレクションで「意見がすぐに出ないのは思考が深まっているからでは」という気持ちが生まれてきた。教員側は積極的な発言だけを見て理解度を確認しがちだが、研修後に個別に感想を聞いた時、各自がよく考えて課題に向き合っていること知り、沈黙も思考の深まりを図る物差しになり得ると気づいた。



実践型研修 | 京都聖母学院中学校

実践的な環境教育を計4クラスで実施

京都聖母学院の2年生、3年生の各2クラス（計4クラス）に対し、地球規模で起きている環境問題の現状と国内外のサステナブルな取り組みを行う学校の事例を紹介しながら、持続可能な学校を考える3コマの環境教育の授業をオンラインで提供。実施後のアンケートでは、約9割の生徒が「学校や日常生活で環境に対する考え方や行動が変化した」と回答しました。



参加者の感想

- とてもわかりやすく、みんなでできたことがとても楽しくて、いい勉強になった。
- 学校や友達などと話し合い、私たちができることから取り組んでいきたいと思う。
- 今までぼんやりとした現状や解決策しか知らなかった環境問題について、詳しく教えて頂いてとても勉強になった。
- SDGsに取り込むことが、私の中で「楽しそう」という考えになった。

IMPACT ACADEMY

For Companies

企業対象研修事例



🖥️ インパクト人財研修(1日研修) | 株式会社NTTデータ

イノベーターとして内発的動機を形成

株式会社リンクアンドモチベーションと協働し、研修コンテンツとして、株式会社NTTデータに社会課題を自分事化する視点を体験する1日研修を提供。研修には、ソーシャルデザイン推進室の6名の社員が参加し、世界を舞台にビジネスで社会課題の解決を実践するチェンジメーカーの「ソーシャルイノベーションを生み出す内発的動機の本質」を体験しました。



参加者の感想

- 1つの社会課題でも立場によって感じ方が異なり、今まで自分が考えていた「サステナブル」とは全く違うことが分かった。
- 環境問題も一つの側面しか見ているだけでは、本質的ではない。本質を見出していくのが大事だと思った。大変だとは思いますが、1つでもトレードオンの事例をつくり、それを社内外に発信して、それがスタンダードとなる架け橋をつくりたい。

Earth Companyの未来人財育成アプローチに興味を持っていただき、企業での研修や講演の機会が大きく増えた、2023年。サントリーホールディングス株式会社が2024年度に行う入社2年目の社員全員を対象とした海外研修のバリ島での受け入れが決まり、企画・準備がスタートするなど、企業との連携が進んだ1年でした。



🖥️ インパクト人財研修(講演)
サントリーホールディングス株式会社

リジェネラティブな視点をビジネスへ

12月にサントリーホールディングス株式会社で行われた、次世代経営者研修での社外リーダーとの対話セッション、デジタル本部での講演にそれぞれ登壇しました。講演では、世界の社会課題や環境問題の現状やそれに取り組むEarth Companyの活動、これからのあり方として世界で注目されている「リジェネラティブ」な考え方を紹介しました。



参加者の感想

- 時間があっという間で、参加できて本当によかった。サステナビリティ業務に携わる身として、自分の仕事の意味・目指すべき姿を考えさせられた。今までトレードオフの感覚から抜け出せず、ビジネス色が強いサステナに疑問を感じることもあったが、将来的には、トレードオンとしてのサントリーを実現できるよう、自分が自分事として真剣に考えていきたい。



🌐 アースチャレンジ | キンドリルジャパン株式会社

「今後も活動が続けたい」が9割に！

6月中旬の6日間、キンドリルジャパン株式会社の社会貢献部門が推進する環境週間の全社キャンペーンの一環として、啓蒙キャンペーン型のプログラム「アースチャレンジ」を提供。初日のオンライン講演では80名が参加し、講演後アンケートでは満足度100%に！キャンペーン終了後も、今回始めた行動に対し「今後も続けたい」と9割の方から回答いただきました。



参加者の感想

- 個々人から集団へと広がるうねりを感じて感動した。
- 社内SNSでの情報共有は刺激になりとてもいい。自分だけがやっても変わらないという感覚がなくなった。
- 普段業務で接しない方々のコメントを見て、同じお題に向かって考えることでリモートであっても一体感があったように思う。
- 私一人がやっても力になると勇気づけられた。

IMPACT ACADEMY

Regenerative Futures Camp

研修事例

未来のために 行動を起こす仲間が日本中に！

Regenerative Futures Camp(以下RFC)は、人と社会と自然が共繁栄するリジェネラティブなあり方を考え、未来のために行動できる人財を育成する企業研修を、個人でも気軽に参加できるように社会人を対象に開催している公開研修です。2022年1月にスタートし、今までに111名の大手企業の方や個人として学びたい方々にご参加いただき、参加者満足度はなんと100%。終了後には、各企業でリジェネラティブな取り組みを推進したり、社会起業家となって課題解決にビジネスに取り組んだり、各方面で未来のための行動を起こしている卒業生も多数！未来のために世界をよくする行動を起こす「リジェネレーター」が、日本各地で増えています！

こんな人に
おすすめ！

- ☑ SDGs推進やサステナビリティ推進に関連する部署にて、何かヒントを探している。
- ☑ この先、何らかの形で社会貢献していきたい、社会課題解決に関わることがしたいと思っている。
- ☑ 世界で注目される「リジェネラティブ」というあり方の本質を理解したい。
- ☑ 社会課題や環境問題について本気で語りたい。語り合える仲間が欲しい。

ミートアップ@バリ島も開催！

人と社会と自然が共繁栄するリジェネラティブなあり方の一例として、RFCでも必ず紹介しているバリ島ウブドのエシカルホテル Mana Earthly Paradise。参加者や卒業生からの「マナに行ってみたい！」という声もあり、2023年9月にバリ島で3日間のミートアップイベントを開催。マナツアー、ブミセハット国際助産院訪問、そして最後のリフレクションと、未来への思いを共有できる仲間と充実した時間を過ごすことができました！



高橋志帆さん
グーグル合同会社

RFCで学んだのは、なりたい姿になる”Be”の大切さです。私は参加して、SDGsや仕事への向き合い方だけではなく、日常生活における悩みとの向き合い方や人間との向き合い方に対する考え方が大きく変わりました。



上嶋香菜さん
大手食品会社

企業のリジェネラティブな取り組み事例や考え方の話を聞いて、企業で取り組みをしていくにはどういう組織を目指す、どの軸をどう変えていくことでリジェネラティブな企業へと近づけるのかを考えるヒントをもらえました。

その他の参加者の感想はこちらから！





mana

earthly paradise • ubud

Mana Earthly Paradise(マナ・アースリー・パラダイス)は、
人と社会と自然が共繁栄する
リジェネラティブなあり方を
できる限り具現化するために建てた
バリ島ウブドのエシカルホテル。

照明は太陽光発電で賄い水は雨水を使用。
新たに木を一本も切らずに建てるなど、
様々な資源の循環を取り入れた取り組みで
国際的な賞を数々受賞。

東南アジアのホテルで初めて
B Corp認証も取得し2023年には
観光庁のサステナブルツーリズムの
ベストプラクティスにも選出されました！
私たちはMana Earthly Paradiseを通じ
事業が繁栄すればするほど
周囲の社会や環境が良くなっていく
真のリジェネラティブビジネスの実現を目指しています。

2023年宿泊者数



913人

去年の
ほぼ2倍！

宿泊者出身国



35カ国



MANA EARTHLY PARADISE

ヴィラの屋根が アリーの竹材に！

4周年を迎え、毎年悪化する異常気象でヴィラのかやぶき屋根がかなり劣化。竹で木材の需要を置き換えることで地球を気候変動やエコシステム崩壊から救おうとするIMPACT HERO 2021 アリー・ラビックが提供する竹材に一新。従来よりも耐久性がアップし、アリーの活動をビジネスの面からも支援することができました。

観光庁から ベストプラクティスに選出

観光庁が2月に開催した国際シンポジウムで、マナがグリーンな観光に関するベストプラクティスに選出され、代表の濱川明日香がオンラインで登壇しました。参加者からは「紹介された事例のなかで、最も興味深かった」という声をたくさんいただきました。



新たにソーラーパネルを設置

今までソーラーパネルはヴィラの屋根にのみ設置されていましたが、駐輪場の屋根にも設置し、照明のみならず、冷蔵庫などの電子機器にも電気供給できるように。電気の自給率がアップしました！

野菜の自給率35%にアップ！

敷地内には併設レストランのマナ・キッチンで使う野菜を育てる「エディブルガーデン」があるマナ。今年はキッチンと畑チームの連携強化や気候変動対策を図り、マナ・キッチンで使う野菜や果物の35%を自給できるように！

色んな意味で
涙が止まらなかった
件

半年の間に、6人のマネージャー中なんと4人が、それぞれ夢を叶えて卒業！ボディビルダーを目指していたマーケティングマネージャーに投資家が現れジムをオープンしたり、チームで一番料理がうまかった経理担当がついに自分の料理屋さんをオープンしたり、花屋を起業する夢、海外で働く夢、それぞれの夢を叶えた仲間たちの勇気ある門出を皆で喜び、少し後ろ髪引かれる彼らを涙で送り出したのも束の間、濱川明日香がその後1人4役を兼任した結果盲腸になるという、色んな意味で涙が止まらなかった2023年でした(笑)

★★★★☆ 4.6

Google Review

(ホテルとレストラン共に)

田んぼに囲まれた
魔法のような素晴らしい場所。
食事、サービス、雰囲気
すべてがワールドクラス！

美しい場所、素晴らしい食事、
そして子どもたちにも優しい。
祝福の経験がここにあります！

毎月サステナブルマーケット
(サスタフェスタ)を開催



詩の朗読を行うイベントUnspoken - Bali Poetry Slamを開催！

エディブルガーデンで収穫した
子どもの料理教室を毎週開催！



北朝鮮の強制収容所に囚われた
家族を描いたアニメ映画
「True North」(清水ハン栄治監督)を
バリ島初公開



インパクトヒーローたちのバリキャンプを2回開催！

インドネシアの女性エコプレナーフェスを
米国のNGO Womens Earth Allianceと共催



YouTube

Women Ecopreneurs Fest

マナの宿泊客の出身国

TOP3

1 日本



2 シンガポール



3 アメリカ

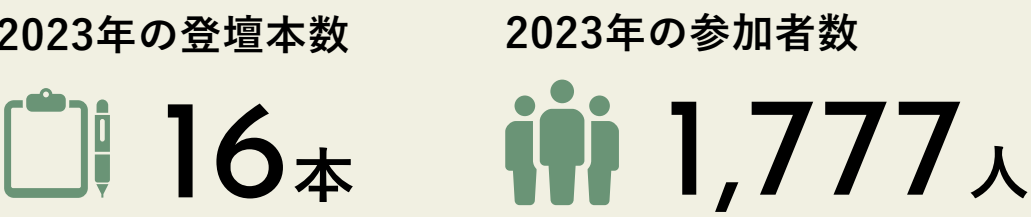


マナの創業時と4年後のビフォーアフター。
緑が生い茂りました！



SEMINARS & LECTURS

講演・登壇



Seminar/Event	Organizer
好きな場所で、自分らしく生きる	岡山大学附属中学校
SDGsのその向こう ～リジェネレーションの探究～	聖マリアンナ医科大学 デジタルヘルス共創センター
Earth Company Journey	早稲田大学ビジネススクール
グリーンな観光・国際観光シンポジウム	観光庁/国連世界観光機関 (UNWTO)駐日事務所
バリ島Ubudにある“Mana Earthly Paradise”って どんなホテル？	コープ自然派奈良
観光と持続可能性	神奈川大学
Asia Foundation's LeadNext 2023 fellows	Asia Foundation
地球規模の危機に直面する私たちに求められる 次世代の国際保健のあり方 ～看護の知識や技術はSDGsにどう貢献できるのか～	筑波大学
アントレプレナーシップ講座武蔵野大学	武蔵野大学
サステナブルのその向こう ～世界が注目する“リジェネラティブなあり方”とは	株式会社ユニマットライフ
新たな視点・ビジネスの可能性を知る。 ソーシャルイノベーション	ASIA HR FORUM 2023

Seminar/Event	Organizer
The Future of green economy	TBN Asia Conference 2023
MEC Sustainability School 2023	三菱地所
バリ島のエシカルホテルに学ぶ、 地域課題をビジネスから解決する挑戦	新時代アジア ピースアカデミー
日・ASEAN の未来価値共創に向けて ～サステナブルな社会の構築と人づくり	経済同友会
Green innovation トークセッション	Green innovation



経済同友会がシンガポールで行った
日ASEANビジネス会議で登壇

MEDIA COVERAGE

メディア掲載履歴

メディア掲載回数

 24回

Date	Seminar/Event	Organizer
2023/01/21	ETHICAL WAVE	J WAVE
2023/01/24	地球と人とSDGs 多様な個性、あればこそ	毎日小学生新聞
2023/01/28	星の部屋へようこそ	25ans
2023/02/07	【My Action for SDGs】社会課題に挑み、未来を変える「ヒーロー」を支援	プレシャス
2023/02/07	心が前向きになる新しい習慣	日経WOMAN
2023/02/22	ハナコラボSDGsレポート バリ島から世界へ発信するソーシャルグッドな取り組み。エシカルホテル〈Mana Earthy Paradise〉LEARN 2023.02.22	hanako
2023/02/28	地球と人とSDGs 日常生活からSDG	毎日小学生新聞
2023/03/19	ACROSS THE SKY「WORLD CONNECTION」	J WAVE
2023/03/28	地球と人とSDGs 日常生活からSDG	毎日小学生新聞
2023/04/12	国連が提唱する「グリーンな観光」とは？ 6つの行動原則と、日本で実践されている事例を聞いてきた	トラベルボイス
2023/04/15	アース・カンパニー、中高生向けオンライン特別授業提供 福岡県限定、参加校を募集	毎日新聞 15歳のニュース

Date	Seminar/Event	Organizer
2023/05/03	全てが循環する バリ島 ジャングルの中のエコホテルとは	Live News α
2023/05/08	これからの人生をともに歩むのはこの人だと確信 ずっと夢見てきたことを、 彼のおかげで叶えることができた	AERA
2023/06/01	SNSと環境問題(UA Journal)	ユートピアアグリカルチャー
2023/08/02	バリ島で4人の子育て、ベビーシッターは強い味方 サモアで自給自足が原点、“押し付けない”教育法	エンカウント
2023/08/09	Creating a Future With Bamboo: Arief Rabik / Senior Advisor, Environmental Bamboo Foundation	NHK World
2023/08/12	オンラインでボランティア活動、 移動や交通費の負担なく	日経プラスワン
2023/08/20	ACROSS THE SKY「WORLD CONNECTION	J WAVE
2023/08/31	Jam The Planet「NEWS TO TABLE」	J WAVE
2023/09/07	「Earth Company」のSDGsは 次世代のヒーローを支援して未来を創ること	Earth Note
2023/09/25	大竹まことラジオ・ゴールデンヒストリー	文化放送
2023/11/13	再生経済は、尊厳を守ること。 バリ島で森と農家をつなぎ直す「竹」のチカラ	IDEAS For Good
2023/11/30	再生経済は、尊厳を守ること。 バリ島で森と農家をつなぎ直す「竹」のチカラ	Yahoo! Japan SDGs
2023/12/20	これからのつながる輝く“なにか”をもらった。 バリ島ウブドのエシカルホテル 「Mana Earthly Paradise」滞在記	Livhub

FINANCIAL HIGHLIGHTS

一般社団法人Earth Company 2023年財務報告

2023年度の経常収益は前年度比2,254万円(26.8%)増の7,514万円、経常費用は前年度比624万円(9.3%)増の7,329万円、経常収支は184万円の黒字で、2019年から4年連続の赤字からようやく脱することができました。

収益を大きく伸ばすことができたのは、ひとえにインパクトアカデミー研修事業の成長によります。今年度の研修事業は4,051万円で、前年度のほぼ2倍。事業収益は全収益の54%を占め、「安定的な自己財源の確保」に向けて、少しずつ成果をあげることができています。

一方、収益のもう一つの大きな柱である寄付金については、前年度比で666万円減の2,467万円。例年行っているインパクトヒーローへの寄付の公募がなかったことが影響していますが、私たちがインパクトヒーローたちを支援するために欠かせない活動費に対する寄付獲得において苦戦していることが、最大の課題です。

費用においては、インパクトアカデミー研修事業の拡大に伴い、人件費他事業の直接経費は増えているものの、団体の運営費用をカバーするだけの収入の見通しがまだ不安定な中で、他の費用についてはできるだけ抑える努力を続けています。

コロナ期の非常に苦しい数年間から、ようやく抜け出せたという感はあるですが、財政基盤の強化にはまだ道半ば。2024年度は研修事業の安定的な成長に取り組みつつ、もう一つの重要な収入源である寄付金の拡大を目指し、法人連携や海外寄付・大規模な助成金獲得に向けた新たな施策にも注力します。

正味財産増減計算書

(令和5年1月1日～令和5年12月31日) 税込(単位:円)

1 経常増減の部	(1) 経常収益	受取寄附金	24,674,082
		受取助成金	9,623,000
		事業収益	40,667,665
		雑収益	185,677
		経常収益計	75,150,424
	(2) 経常費用	支払助成金	2,075,795
		業務委託費	45,705,739
		役員報酬	2,280,000
		給料手当	10,634,910
		法定福利費	2,034,209
		福利厚生費	6,295
		広告宣伝費	1,825,000
		印刷製本費	844,812
		会議費	530,333
		旅費交通費	4,297,870
		通信費	1,153,606
		消耗品費	644,963
		新聞図書費	17,110
		諸会費	73,000
		支払手数料	709,081
		保険料	21,720
		租税公課	116,300
		研修費	40,000
		減価償却費	264,800
		支払利息	22,492
		為替差損	301
経常費用計	73,298,336		
当期経常増減額		1,852,088	
2 経常外増減の部	当期経常外増減	0	
税引前当期一般正味財産増減額		1,852,088	
法人税、住民税及び事業税		70,000	
当期一般正味財産増減額		1,782,088	
一般正味財産期首残高		△ 12,343,628	
一般正味財産期末残高		△ 10,561,540	

OUR SUPPORTERS

ご支援くださった企業・団体

OUR SUPPORTERS



OUR PARTNERS

プログラム共催



プロボノ提供



Special Thanks to

[インパクトアカデミー企画] 柏田滉太・牧野佑亮 [インパクトアカデミープログラム開発] 井岡雄以
[WEBマーケティング] 松井理泰 [フォトグラファー] 菅原幹人
[インパクトアカデミー編集企画] 荒川悦子 [Regenerative Futures Camp 運営] 塚田紗来

PROSPECTS

2024年のEarth Company



Impact Hero
インパクトヒーロー支援事業

10周年イベントにインパクトヒーローたち来日！

支援最終年となるサミールが国連から巨大案件を受注し、更なる資金調達支援を。モンゴルのオユナは2025年に支援を集中的に行うため準備を進め、2024年度の8名のヒーローたちへは、支援を劇的にレベルアップ！10周年にはインパクトヒーローが複数名来日するので乞うご期待！



Impact Academy
インパクトアカデミー研修事業

サントリーから約260名がバリ島に！

2024年は年初の時点で、バリ島渡航研修は年間スケジュールがほぼ埋まる状態に。サントリーホールディングス株式会社の2年目社員全員を受け入れるなど、企業の海外研修も実施します。また、教育機関対象にリジェネラティブな視点で地域を考える新プログラムも開発。グローバルにローカルに学びを提供します。

マナ、拡大します！

現在拡大する土地のリース交渉や拡張部分のデザインを進めており、2024年内には工事着工予定！開発が進み激しく変わりゆくバリで、いかに真のバリの良さ・生きる叡智・「バリ人のバリ」に触れていただけるか、そんなコンテンツの強化に、パワフルな新任マネージャーたちと共に、努めていきます！



Mana Earthly Paradise
エシカルホテル事業



Re: Earth

Earth Company 10周年企画

Earth Companyは、2024年10月に、10周年を迎えます！

これまで応援してくださった皆さま、本当に、ありがとうございます！

おかげさまでこの10年間、人類全体と自然が共繁栄する

「リジェネラティブ」な未来を次世代に繋ぎたい、という思いを共有し、

行動を起こしてくださる方は、たくさん増えました！

2024年は、リジェネラティブな未来創りに向けた様々な企画を始動します！

私たちは、この先も全力で走り続けます。

皆さんも引き続き、私たちと走って頂けませんか。

一緒に、「リジェネラティブ」な未来へー。

10周年イベント「Earth Company 東京 ポップアップ」

バリ島やオンラインでしか体験できない「Earth Company」のポップアップを、

1日限定で東京で開催します！これまでの10年を振り返り、

インパクトヒーローたちや、リジェネラティブな未来を創るカタリストたちと語り合い、

エシカルホテルMana Earthly Paradiseも体感できるイベントを企画しています！

詳細は、随時特設ページにアップしていきます。ぜひご覧ください！

日時：2024年10月6日（日） 15:30-19:30

場所：日本科学未来館（東京都江東区青海2丁目3-6）

10周年特設ページはこちら



OUR TEAM

団体の理念に共感する個性・専門性豊かな人財が、
国境や組織の枠を超えて集まっている、Earth Company。
今年はそれぞれのチームの役割と特色を紹介します！

インパクトヒーロー支援事業部

代表理事直轄で、日本事務局長がディレクターを務める
Earth Companyの基幹事業。事務局長以外は、みんなバリ島在住。
ヒーローたちに接しインスパイアされる感動も大きい一方、
支援の最前線ならではの人の知れぬ苦労も。

[Japan Office] [Bali Office]



濱川明日香
(事業監修)



佐藤真美
(事業ディレクター)



島田颯
(支援事業担当)



上嶋香菜
(支援事業担当
※企業から留職中)

インパクトアカデミー研修事業部

日本のクライアントを担当するJapanチームと、海外クライアントを担当するGlobalチームで構成。
Japanチームは、さらに企画から教育機関担当、企業担当と担当にわかれている。
研修の現場では、参加者の成長に涙することも多々？！

[Japan Office]



濱川知宏
(最高探究責任者、
事業監修、企業担当)



小松紀子
(事業ディレクター)



山本万優
(営業・戦略企画担当)



三原友梨
(営業促進担当)



藤本亜子
(研修企画・
ファシリテーター)



望月小百合
(ファシリテーター)



下元朋子
(教育機関担当
講演講師)



荒井慶悟
(教育機関担当
ファシリテーター)



村山祐紀子
(企業研修企画・
ファシリテーター)



Yulfitri
Pramatatya
(研修企画・
ファシリテーター)

Mana Earthly Paradiseチーム

エシカルホテル運営の最前線
で、各種リニューアル、プロモ
ーション、ときどき出てくる野生
動物対応など、何でも乗り切る
チームワークを持った、心強い
チームです。



経営企画



濱川明日香
(代表理事)



佐藤真美
(事務局長)

オペレーションチーム

経理、総務、人事、労務、法務と、Earth Companyを支えるバックオフィスチーム。
専門性の高いスタッフが経験を活かして各事業をサポートしています！

[Japan Office]



佐藤真美
(事務局長)

中川吏江 (人事労務法務担当)



菊城美保
(経理担当)



Gheston
Amarala
(人事労務担当)



Anya
Kasmira
(経理担当)



Made Dias
(経理担当)

[Bali Office]

マーケティングチーム

マーケティングに支援者対応と、Earth Companyを支えるミドルオフィスチーム。
専門性の高いスタッフが経験を活かして対外コミュニケーションを担っています！

[Japan Office]



小松紀子
(事業ディレクター)



樋口実沙
(マーケティング担当)



下元朋子
(支援者担当)



DeAndre
Saroinsong
(コミュニケーション
マネージャー)



Ninette
Saraswati
(マーケティング担当)

[Bali Office]

HOW TO GET INVOLVED

個人の方へ

Earth Companyには様々な「関わり方」があります。
もしこのアニュアルレポートをご覧ください、「Earth Companyをもっと知りたい」「Earth Companyと何かしたい」と思ってくださったら、ぜひ何かアクションを起こしてみませんか。どんな「関わり方」も大歓迎です！
私たちと一緒に未来のために行動を起こしてくださる方が1人でも多く増えることを、スタッフ一同楽しみにしています。

3

個人向け研修に参加する



年2回、4月と9月スタートで定期開催している唯一の個人向け研修「Regenerative Futures Camp」。Earth Companyと一緒に人と自然が共繁栄する未来について考え、同じ思いをもつかけがえのない仲間にも出会えます！→第6期の詳細はこちら



1

マンスリー サポーターになる



社会課題解決のために人生をかけているチェンジメーカーと共に未来をつくるEarth Lovers(継続寄付者)になりませんか？月額2,000円からご支援いただけます。



2

講演先を紹介する



Earth Companyの講演に興味を持ってくれそうな学校や企業、団体をぜひ紹介してください！Earth Companyの活動を通じて、世界の社会課題や環境問題の現在地をふまえてご紹介します。お気軽にお問合せください。



4

Manaに泊まる



バリ島ウブドにあるエシカルホテルMana Earthly Paradiseに泊まると、宿泊料の5%が、インパクトヒーロー支援事業に寄付されます。心と体に心地よいこれからのあり方を体験することで、社会貢献もできます。



5

SNSでシェアする



Earth Companyの活動を多くの人に知ってもらえるように、FacebookやInstagramの拡散にご協力ください。



Earth Company - アース・カンパニー
<https://www.facebook.com/EarthCompanyJP>



earthcompany.jp <https://www.instagram.com/earthcompany.jp/>



manaubud <https://www.instagram.com/manaubud/>

HOW TO GET INVOLVED

法人企業様へ

未来をつくる企業として その想いを Earth Companyと一緒に 実現しませんか

複雑化、多様化する社会環境課題を解決していくには、未来を変えるために行動を起こせる人を一人でも多く生み出し、サポートすることが必要です。今それを後回しにすれば、ビジネスを続ける環境としての地球が危機的状況に陥ってしまいます。

そのような思いから、Earth Companyは人と社会と自然が共繁栄するリジェネラティブな未来のために、アジア太平洋地域の未来をよくするチェンジメーカーを支援し、日本の未来を変える人財の育成をしています。

御社の未来への想いを、私たちと一緒に実現しませんか。
ご興味がある方は、ぜひご一報ください！



賛助会員 一口5万円

年間一口5万円からの会費で、アジア太平洋地域で社会課題や環境問題に取り組むチェンジメーカーの活動を支援できます。



講演・研修の導入

自社で未来人財育成研修や講演を導入することで、従業員を未来のために行動を起こせる人財へとエンパワーメントできます。



事業スポンサー 一口20万円～

一口20万円から用途を指定し(アジア太平洋地域のチェンジメーカー支援、または日本の中学・高校生への無償授業提供)未来を創る活動に貢献できます。



プロボノ・留職

数ヶ月から1年間単位で、Earth Companyで留職体験ができます。組織の枠を超えて、社会課題解決の最前線を体験することで視野の広がりや成長が期待できます。



企画型寄付

売上連動や従業員参加など、実施の目的やご要望にあわせて寄付企画が実施できます。



会場提供

会社の施設をイベント会場としてご提供いただくことで、社内外への企業姿勢のPRに繋がながら、社会貢献をしています。



EARTH COMPANY

www.earthcompany.info

Earth Companyは
次世代につなぐ未来のために
人と社会と自然が共繁栄しながら発展する
リジェネラティブなあり方を追求します。

※Earth Companyは日本を拠点とする
一般社団法人Earth Companyと、
インドネシアで活動するPt Jalan 278の
2つの独立した法人の総称です。

一般社団法人Earth Company

東京都港区南青山2-15-5 FARO1F
Tel 03-6403-7594

Pt Jalan 278

Banjar Mas, Sayan, Ubud,
Gianyar, Bali, Indonesia
Email contact@earthcompany.info

 www.facebook.com/EarthCompanyJP/

 www.instagram.com/earthcompany.jp/

“We do not inherit the earth from our ancestors. We borrow it from our children.”

この地球は、先祖から継承したのではなく、私たちの子どもたち、子孫から借りているのです。

2024 年 6 月発行

編集：一般社団法人 Earth Company デザイン：野村真美